

## トヨタ紡織、北陸新幹線グランクラスに採用されたシートが「JIDA デザインミュージアムセレクション vol.20」に選定

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）の開発した鉄道車両用シートが、このたび、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会<sup>※1</sup>による「JIDA デザインミュージアムセレクション vol. 20」に選定されました。

選定されたシートは、2013年に北陸新幹線E7系・W7系の「グランクラス<sup>※2</sup>」に採用されたものです。グランクラスにふさわしい高級感あるデザインが施され、自動車シートで培った技術をいかした乗り心地の良いシートであること、そして、肘掛け内蔵テーブルをワンアクションで引き出すことができるという、特長ある機能と構造が評価されました。

JIDA デザインミュージアムセレクションは、社会に寄与する質の高い製品を選定し、その製品を次世代に伝え、教育・産業・生活への文化貢献を行うことを目的としています。選定製品は、2019年1月18日(金)から21日(月)にAXISギャラリー（東京都港区）で開催される「DMセレクション東京展」に展示される予定です。



トヨタ紡織は、今後も世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社として、“QUALITY OF TIME AND SPACE” - すべてのモビリティの中で人が過ごす、より上質な時間や空間の提供を目指し、快適な移動空間の開発に取り組んでいきます。

※1：日本のデザイン界と産業や社会、文化の発展を目的として活動する団体。  
JIDA は Japan Industrial Designers' Association の略。

※2：2011年より東北新幹線で運行されているグレード。フランス語で「大きな」の意味をあらわす Gran と、英語の Class を由来とする造語で、“高級感”に加え、大きな特徴である“ゆとり・居住性”を表現。